

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 288 (通算 618 回)

2015 年 3 月 23 日 (月)

就職・社会参画へのサポート

発達障害学生のキャリア・就労支援策Ⅱ

～ 学内実習・就労の工夫／民間企業との連携／卒業後のフォローアップ ～

- ※ 全学的支援システム構築／地域若者ステーションにおける支援／“雇用”か？“働く”か？
- ※ [Kaizen] 支援者としての留意点／就活サークル～2年間の経験から／3つのケーススタディ
- ※ [富山大] 修学から就職支援／障害者雇用枠／職場定着支援／地域就労支援機関との連携

● 講師陣 ●

田澤 実 氏 / 法政大学 キャリアデザイン学部 准教授

鈴木 慶太 氏 / (株) Kaizen 代表取締役

日下部貴史 氏 / (国) 富山大学 学生支援センター

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 コーディネーター

2015 年 3 月 23 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  地域科学研究会
高等教育情報センター

日 時：2015 年 3 月 23 日 (月) 10:00～16:00
 会 場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
 駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 39,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
 40,000 円 (送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 288

発達障害学生のキャリア・就労支援策Ⅱ

2015 年 月 日

(□に✓印を) 当日参加 メディア参加
 支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
 必要書類 請求書 見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 〃 11:40	<p>□ 発達障害学生の困難とキャリア・就職支援の実際 ～ 大学及び地域若者サポートステーションでの活動を踏まえて ～ 法政大学 田澤 実</p> <p>1. 大学における発達障害学生の支援 (1) 発達障害学生はどれくらいいるのか (2) 在学中の支援 (3) 卒業後を視野に入れた支援 (4) 全学的支援システムの構築までの会議プロセスの例</p> <p>2. 地域若者サポートステーションにおける支援 (1) どのような支援をしているのか (2) どのような若者が利用しているのか (3) 発達障害が疑われるケースと支援例</p> <p>3. 大学から社会への移行パターンに応じた支援 (1) ライフステージの節目と進路選択 (2) 近年の大学の学びの傾向 (アクティブラーニング) (3) "雇用"か? "働く"か? 〈質疑応答〉</p>
11:50 〃 13:00	<p>□ [Kaien] 発達障害者に特化した就労移行支援の実際 ～ 学外就活サークル「ガクプロ」の取り組みを中心に ～ (株) Kaien 鈴木 慶太</p> <p>1. 大学生の発達障害とは? (1) 診断に引きずられない特性把握 (2) 高校までや就労支援と違う大学の特殊性を考える (3) 共感傾聴よりも必要なこと ～支援者としての留意点</p> <p>2. ガクプロの2年間の経験から (1) 背景～療育を受けていた親御様からの要望を受けて (2) 1・2年生～修学支援と居場所としての準備期間 (3) 3・4年生～一般枠/障害者枠、業種/職種のアセスメントと就活の伴走</p> <p>3. ケーススタディ (1) 一般枠 (福祉職) について一流大学の女子学生 (2) 障害者枠をはじめから貫き年内に合格した男子学生 (3) 就職活動がはじめられない理系学生 〈質疑応答〉</p>
14:00 〃 16:00	<p>□ [富山大] 社会参入を見据えた就職活動支援 ～ 地域就労支援機関と企業との連携による定着支援 ～ (国) 富山大学 日下部 貴史</p> <p>1. 修学支援から就職支援へ (1) 富山大学における発達障がい学生支援システム (2) 修学支援における取り組みと大学の役割 (3) 発達障がい学生の就職の現状</p> <p>2. 就職活動支援から職場定着支援へ (1) 障害者雇用枠での就職活動とは (2) 高機能の発達障がい者に特化した就労移行支援事業所での体験</p> <p>3. 就職後の定着支援と企業へのアプローチ (1) 職場定着のためのフォローアップ面談 (2) 地域就労支援機関との連携 (3) 企業へのアプローチ (4) 今後の課題 〈質疑応答〉</p>